

令和2年度 学校経営方針

令和2年4月1日 京都市立養正小学校

小中一貫教育目標

小中9年間で「生きる力」を育む

～子どもの命・人権を守りきる小中一貫した学校づくり～



学校教育目標

子どもの良さや可能性を最大限に伸ばす養正教育の推進

- | | |
|---------------------------|---------|
| ○自ら考え表現し、学ぶことを楽しむ子の育成 | 【学 力】 |
| ○互いの良さを認め、共に高め合う学習集団の育成 | 【人 権】 |
| ○人との関わりを楽しむ豊かな心と規範意識の育成 | 【豊かな心】 |
| ○望ましい生活習慣の定着と健康でたくましい体の育成 | 【健やかな体】 |



めざす子ども像

- | | |
|------------------|---------|
| すすんで考え、学ぶことを楽しむ子 | 【学 力】 |
| 自分や仲間の良さを認められる子 | 【人 権】 |
| きまりを守り、楽しく活動する子 | 【豊かな心】 |
| 運動に親しみ、健康な生活をする子 | 【健やかな体】 |

1 めざす子ども像の具体化

「すすんで考え、学ぶことを楽しむ子」…学習意欲

- * 授業での約束や学び方を身に付け、興味・関心をもって楽しんで学習する子ども
- * 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、家庭学習が習慣化している子ども
- * 教材(資料)や発言等を基に考え、自分の考えを分かりやすく表現する子ども

「自分や仲間の良さを認められる子」…思いやり

- * 自分の良さに気づき、その良さをさらに伸ばそうとする子ども
- * 仲間の良さや頑張りを素直に認め、相手を思いやる言動ができる子ども
- * 様々な人と積極的に関わり、望ましい関わり方を身に付けている子ども

「きまりを守り、楽しく活動する子」…ルール・マナー・エチケット

- * 学級・学校・社会のきまりや約束を守るなど、規範意識を身に付けている子ども
- * 仲間と協力しながら、責任をもって当番や係などの役割を果たす子ども
- * 身近な人との関わりを楽しみ、相手・時・場に応じた言葉づかいができる子ども

「運動に親しみ、健康な生活をする子」…自尊感情

- * 命や健康の大切さを認識し、自他の安全を考えて行動ができる子ども
- * 食事・歯磨き・睡眠・運動・学習等の基本的な生活習慣を身に付けている子ども
- * 運動や外遊びに自ら取り組み、健康でたくましい体をつくらうとする子ども

2 目指す教職員像 ～本校児童の課題克服に向けて～

- ①全教職員が、会議や研修等で提案・確認されたことを、組織的かつ継続的に実践する。【徹底】
- ②個々の職務に応じた具体的な自己目標をもち、日々の実践・研修を通して自らの力量(指導力)や人権感覚の向上をめざす。【研鑽】
- ③全教職員が、組織の一員として学校運営に参画し、教育課程や内容の見直し(カリキュラム・マネジメント)、業務の削減と効率化を進める。【参画】
- ④学力向上・規範意識の高揚・生活習慣の定着を重点課題とする。毎時間の授業や日々の取組の中で生徒指導・生活指導を実践する。【結果】

3 今年度の取組の重点

(0)「組織力」「環境(学習環境・職場環境)」・・・チーム養正

- *コミュニケーション, 風通し, 明るい雰囲気のある職場づくり(ソフト面)
- *美しい職場環境づくり(ハード面)⇒職員室・会議室・資料室 等
- *落ち着いたある学習環境の整備
 - ⇒ソフト面: あいさつ・丁寧な言葉づかい・温かい関わり・笑顔 等
 - ハード面: 教室(総合・特別教室)・廊下・校庭・靴箱 等

(1)「学習規律」「基礎・基本」「関心・意欲」「思考力・表現力」「自学自習」・・・「楽しい」が聞こえる

- *『学びの約束・ルール』(小中一貫教育構想より)の実践・徹底＝年度当初より
- *生徒指導の三機能を意識した授業⇒チェックリストの活用
- *朝読書, ベーシック・ステップアップ, 言葉ランドの確実な実践
- *「楽しい授業」「わかる授業」「考え, 表現する授業」の積み重ね
 - ⇒基本的な学習過程【導入－問題－めあて－人学び－話し合い(グループ・全体)－まとめ－振り返り】
 - ★動機付け(しかけ), 思考を促す発問, 話し合いの視点
 - ⇒的確な支援【視覚教材(デジタル教科書など)・見やすい板書・指示 等】
- *授業研究, 中堅若手自主研修等での積極的な授業公開⇒国語・算数を中心に
- *学校図書館・視聴覚室の積極的な活用
 - ⇒読書環境の充実: 読書ノート・バッグの活用, 学校司書との連携, 読書週間
 - ⇒「学習・情報センター」として授業での活用
- *家庭学習(自学自習)の習慣化 ⇒宿題: 提出の徹底と個別化, 自学: 内容の紹介
 - ★漢字・計算, 音読・読解, 「問題データベース」活用, ノートの掲示

(2)「人権感覚」「自尊感情(自己肯定感・自己有用感)」「規範意識」・・・マナー・エチケット

- *人権を基盤にした学級経営＝一人一人が活躍できる居場所づくり
 - ⇒学級でのルールや約束の徹底＝安心感
 - ⇒生徒指導の三機能を意識した学級経営
 - ⇒特別な支援が必要な児童への全教職員での関わり・支援
- *人権に関わる学習活動や取組の着実な実践
 - ⇒「にこにこ集会」「学級での人権学習」「ようせいタイム」等の充実
 - ⇒児童会との連携: 月目標, 振り返り, 教職員の意識
 - ⇒新たな人権課題への対応: 「発達障害」「LGBT」「情報モラル」「虐待」等
 - ⇒不易の取組: 同和問題にかかわる単元の指導, ハートフルタイム, インプロ, 交流学習, コリアみんぞく教室

- *「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」の実践
 - ⇒生指ミーティング，ケース会議，保健室・SC・SSW及び家庭との連携
 - ⇒「くらまね」「いじめアンケート」「児童面談」の活用
 - ⇒『養正校のやくそく』についての継続的でぶれない指導

(3)「生活習慣・生活リズム」「安全・危機管理」「運動能力・体力」・・・自分のできる

- *健康教育推進計画に基づく実践の継続
 - ⇒基本的な生活習慣の定着に向けて：食事・歯磨き・睡眠・運動・生活リズム
 - ・「生活しらべ」の結果に基づく指導（子ども・保護者）
 - ・歯，口の健康改善＝給食後の歯みがき，歯の健康に関する指導
 - ・養護教諭・栄養教諭・給食調理員と学級担任との連携
 - ・体育学習の授業改善，「ロング昼休み」の活用等
- *自分の命・健康を守り切る力の育成
 - ⇒学級活動：安全ノートの活用，避難訓練：様々な想定・三校合同研修
- *「食物アレルギー」「水泳指導」「いじめ・問題行動」「保護者苦情」等への対応
- *防災マニュアルの改善と共通理解，校内の危険箇所の点検と整備

(4)「コンプライアンス」「働き方改革」「その他」・・・気持ちよく

- *法令遵守の徹底，教育公務員としての倫理観の向上
- *時間・物の有効活用＝業務削減，放課後の時間の捻出，仕事コントロール
 - ⇒会議等の時間，電話対応・施錠時刻，仕事のめりはり，授業時数の確保
 - ⇒働き方改革は時間だけの問題ではない！職場環境・働きやすさ・働く意欲
 - ⇒公費の適正な執行＝物品・教材等の見通しをもった購入，光熱水費等の節約
- *地域，関係諸機関との積極的な連携
 - ⇒高野中学校区三校，校区保育所，児童館，東山総合支援学校，児童相談所 等
- *新学習指導要領の共通理解と実践
 - ⇒「道徳」「外国語科（外国語活動・英語活動）」「学習評価」「カリキュラム・マネジメント」等